



# 読書は「慣れ」『ハリー・ポッターと死の秘宝』田中敦

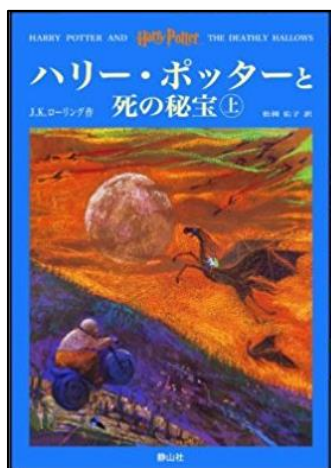
今年度最後の「HONTO」は国語科の田中先生にお願いしました。もうすぐ春休み、というタイミングで、田中先生は読書に慣れることを勧めてくださっています。田中先生の高校時代はハリー・ポッターシリーズが大ベストセラーになっていて、多くの人が熱狂的に新作を手に入れ、ハリーの冒険を楽しんでいました。ここ数年のベストセラーといえば、『フランス人は10着しか服を持たない』『うんこドリル』『おやすみロジャー』『90歳。何がめでたい』など、高校生にはなかなか興味を持ってないものも多いでしょう。かろうじて『漫画君たちはどう生きるか』『君の隣をたべたい』などがあがりますが、国民的ヒット作というにはまだまだ広がり弱いかもしれません。

最近、高校の学校司書から聞いた話で、自分の学校の生徒に、図書館だよりに紹介されている本が知らない本ばかりなので興味を惹かれない、と言われて衝撃を受けた、ということがあったそうです。皆さんの知識欲はTwitterで満たされてしまうのでしょうか。細切れの情報をどんどんインプットしていくと、脳の容量がだんだん小さくなって、まとまった文章を読む力が失われていきます。まだまだ柔軟な能力のあるうちに、まとまった文章を読むことに慣れておくことが大事です。この春休みに本を読むことを始めてみませんか。

### 読書のススメ

国語科 田中 敦

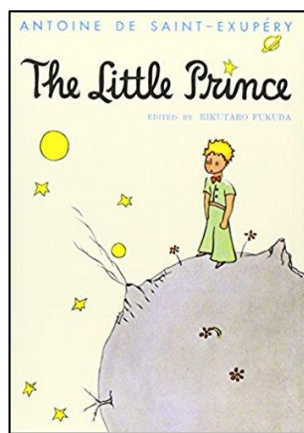
さて皆さん、読書はしますか？「しない」という人が多いのは十分承知しています。もうすぐ今年度も終わりますが、この一年間で全く本を読んでいない。という人も多いのではないのでしょうか。本というのは長くて退屈でつまらない。という声を良く耳にします。たしかに、本を読むのにはある程度「慣れ」が必要です。では、どうやって慣れればいいのかというと、たくさん本を読むしかないのです。だから最初は読みにくい、おもしろくないと思って読んでいけばだんだん「慣れ」ていくものだと思います。



かくいう私は、高校生のとき読書が好きでした。でも、たいして難しい本は読んでいなかったと思います。ドラマの原作やアニメの原作をはじめフィクションばかり読んでいたのであまり大きな口では言えません。

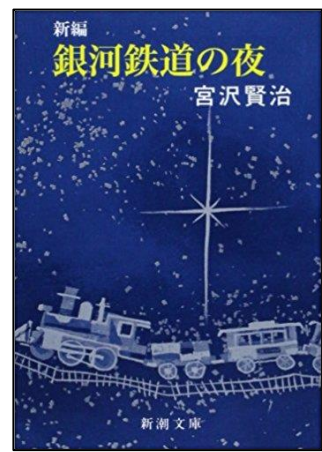
高校時代で一番覚えている本は、ハリー・ポッターの最終巻です。10年前の2008年7月23日に日本語版が出版されました。当時の私はかなり前からこの本を予

約して発売を楽しみにしていました。でも7月23日といえば夏休み前ですよ？休みに入ればゆっくりと読む時間があるのに、早く続きが読みたかった私は、塾へ行く前に予約していた本を受け取り、塾から帰るとこの本を読み始めました。小学生の頃から読んでいたハリー・ポッターが完結する。ということで続きが気になってしまいどンドンと読み進めました。結局最終巻の上巻を夜が明けるまでに読み終えてしまいました。ハリー・ポッター



と聞けばあの本の厚さは何となく想像できると思いますが、半日ほどであの本を読み切ることができるくらいに、慣れてしまえば読むスピードは身につくものです。特に、ハリー・ポッターシリーズが好きだった。今までずっと読んできていた。ということでさっと読むことができた。というのではないかなとおもいます。

さて、今回このHONTO企画に際して、どのような本を紹介しようかと迷いました。やっぱり皆さんが「読みやすい本」が良いだろうと言うことで、二冊紹介したいと思います。一つはアントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリの『星の王子様』、そして宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』です。わざわざここで紹介しなくとも皆さんもタイトルくらいは耳にしたことがあるのではないかと思います。しかし内容まで知っている人は少ないのではないのでしょうか。私も恥ずかしいことに前者は高校、後者にいたっては大学に入って初めて読了しました。



これらの本の共通点は、両方とも児童文学であることです。こども向けに書かれている文章のためそれほど難しく感じることはないと思います。一方で両方とも大人にも良く読まれており、評価されていることも共通点として挙げることができます。このあたりはハリー・ポッターシリーズとも似ていると言えるかもしれませんね。前者はフランス語を翻訳している。後者は少し古い言葉で書かれているというところで難しさは感じるかもしれませんが、二冊とも短い話ですので、読書に「慣れ」るために読んでみて欲しいと思います。

どうしてこれらの本は今読んでも、さらに大人が読んでも評価されているのでしょうか。そのことを是非自分で読んでみて一度考えてみて欲しいなと思います。

両方とも何気ない物語のように感じられますが、皆さんが今、悩んでいること、不安に思っていることを少し楽にしてくれるヒントがちりばめられているように感じます。だからこそ、こどもが読めば、こどもの心に何か影響を与える。大人が読めば、大人の心に何か影響を与える。そんな話になっているのではないかと。というように私は感じます。

読書に苦手意識のある人、長い話は読むのがしんどい、疲れる。という皆さん読書に「慣れ」るためにどちらか一冊読んでみませんか？